

# 3月行事予定

【◎：スクールカウンセラー常松先生来校日 ☆：校庭開放】

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	水	まばスポ（3・4）委員会（最終） ☆	15	水	4時間授業 ☆
2	木	まばスポ（1・6）	16	木	5時間授業
			17	金	5時間授業 ◎
3	金	6年生を送る会 6年生合奏発表 ◎	18	土	
			19	日	
4	土		20	月	4時間授業
5	日		21	火	春分の日
6	月	全校朝会 保護者会（1・2・仲）	22	水	給食（終） 卒業式予行（5・6） ☆
			23	木	修了式
7	火	保護者会（5・6）	24	金	卒業式
8	水	クラブ（最終） ☆	25	土	春季休業日始
			26	日	
9	木	保護者会（3・4） 小中合同鑑賞会（6）	27	月	
10	金	避難訓練 ◎	28	火	
11	土	音楽教室発表会	29	水	
12	日		30	木	
13	月	全校朝会 校外学習（仲）	31	金	
14	火				

※令和5年度の学校開放指導員が決まるまで、水曜午後の校庭開放が実施できません。学校開放指導員を引き受けてくださる方は、教育委員会学校支援課または学校までご連絡ください。

## 今月の目標

生活…1年間の反省をしよう  
給食…自然治癒力を高めよう  
保健…協力して学校をきれいにしよう

## 《仲よしミニつうしん》

3月13日（月）校外学習で交通公園に行きます。  
往復徒歩で行くため、体力作りに力を入れています。  
道中はもちろん、公園で自転車乗車中の交通安全にも気を付けていって参ります。

## 図書館活動

## 馬橋の教育



今年度、本校の図書館で子供たちが借りた本の数は24,857冊です。（2月16日現在）一人あたりにすると約45冊です。個人で見ると、貸出冊数上位9位までが4～6年生が占めております。ちなみにいちばんたくさん借りた子（6年生児童）は200冊を超えます。高学年は、なかなか図書の時間が取りにくい状況ですが、休み時間に自主的に足を運んでいます。

子供達には、いつでも気軽に図書館に寄り、本に親しんでほしいと思います。そして、自分にとってのNo.1の本に出会えるといいですね。3月に図書館前の廊下に6年生による「ぼくの、わたしのナンバーワンブック」の桜の木を飾る予定です。機会がありましたらご覧ください。



～ 令和5年度の馬橋小へ ～

校長 小澤 伸生

校庭の梅の木が、爽やかな香りを放つ季節となりました。東京は暖かく穏やかな天気が多かった今年の冬ですが、やはり春の訪れは心が和みます。

早いもので令和4年度もあと一ヶ月を残すばかりとなりました。3月は一年間のまとめの時期であり、次年度に向けた準備の時期でもあります。

昨年末に行われた第7回学校運営会議（CS コミュニティー・スクール会議）では、児童及び保護者の皆さまにご回答いただいた「教育調査」の結果を基にした報告と意見交換をおこないました。地域・保護者の皆さまには1月に「教育調査」結果報告という形でお伝えしておりますが、CSの中で話題に出たことの中には、「肯定」「やや肯定」「どちらでもない」「やや否定」「否定」「情報がなく回答できない」の6段階のうち、「やや否定」、「否定」「情報がなくて回答できない」の割合が高かった「小中一貫教育への取組」、「教育相談体制」、そして「特別支援教育」についてでした。

「小中一貫教育」については、連携する杉並第一小学校、杉森中学校との職員合同研修会を2年ぶりに開催し、新型コロナの感染状況を鑑みながらできる範囲での生徒と児童の交流を行いました。なかなかコロナ禍以前のレベルには届きませんでした。新型コロナへの社会的認識が変わると予想される次年度は、もっと積極的に取組み、活動の様子をお伝えできると期待をしています。

「教育相談」と「特別支援教育」については、プライバシーに関することで情報が乏しく、回答が難しい項目だとは思っておりますが、特別支援教室の内容周知など、まだまだ努力の余地があることが理解できました。

さて前回2月のCSでは、次年度令和5年度に向けての本校の教育計画の概観をお伝えしました。「杉並区教育ビジョン2022」の2年目を迎えて、日々の学習活動や学校行事を中心とした学校生活の新しい姿を積極的に追究していきたいと思っております。

具体的には、校内研究の中心に社会科の学習を据えて、「自分の力で考える」問題解決の力を養います。また、青少年赤十字校に加盟し、地域を学ぶ総合的な学習にチャレンジします。馬橋という自分たちの生活する地域を好きになり、地域の課題に自分事としてかかわろうという気持ちと態度を育てていきたいと思っております。

学校行事についても今年度と同様に児童の意見や工夫を生かした行事作りを更に継続していきます。体育的行事「まばしんびっく」はもとより、従来行われてきた学芸会などの文化的行事についても、これからの時代にマッチした新しいスタイルを模索し、創り上げていきたいと思っております。

ややもすると「見慣れた学校行事とは違う」という違和感をお感じになる部分があるかも知れませんが、これからの時代に必要な力を子供たちに育むための学校行事ですので、地域・保護者の皆さまのご理解をいただけたらと思っております。

文末になりましたが、今年度、本校の教育活動にご支援とご理解をいただきました地域、保護者の皆さまに厚く御礼を申し上げます。創立70周年の節目を超えた馬橋小、新たな10年に向けて次年度も着実に歩んで参ります。